

札幌市教員育成指標【幼稚園教諭・保育教諭編】

(平成31年2月19日策定)

(令和8年3月1日一部改定)

※「研修計画」については【教員編】に含まれます。

| 求める教員像 | ステージ | 【養成段階】 | ステージ1 | ステージ2 | ステージ3 | |
|------------------------------------|---|--|---|---|--|--|
| | | | 【基礎形成期】 | 【向上・充実期】 | 【深化・牽引期】 | |
| の深い教育的愛情を、常にもち続けている教員 | 観点 | 札幌市が求める教員人生スタート時の姿 | 幼児理解、保育実践、学級経営等に関する基礎的・基本的な指導力を身に付け、教職としての基礎を固める。 | 専門性を高め、幼児理解、保育実践、学級経営等に関する実践的指導力の向上を図り、リーダーとしての資質を磨く。 | 豊富な経験を生かして、全園的な視野に立ち、園づくりの中心的な役割を果たし組織的な運営力を高める。 | |
| | | | 【学級担任等】 | 【学年運営・園務分掌等】 | 【園全体】 | |
| の深い教育的愛情を、常にもち続けている教員 | 教職の素養 | 使命感・責任感・倫理観 | ●教育者として、崇高な使命を深く自覚し、強い責任感や法令遵守の精神、高い倫理観をもっている。 | | | |
| | | 情熱・教育的愛情 | ●札幌を理解し、愛着をもつとともに、教職への誇りと情熱、子どもへの深い教育的愛情をもっている。 | | | |
| | | 人間性・コミュニケーション | ●豊かな人間性や広い視野、人権尊重の意識をもち、コミュニケーションを図りながら、同僚性を高め、他者との信頼関係を構築している。 | | | |
| | | 学び続けようとする意欲 | ●常に自己研鑽に努め、向上心をもって主体的に学び続けている。 | | | |
| の深い教育的愛情を、常にもち続けている教員 | 札幌市学校教育の基盤 | 人間尊重の教育の推進(子ども一人一人が自分が大切にされていると実感できる学校づくり) | 子ども一人一人を大切に教育を理解し、子どもの可能性や活躍の場を引き出す実践を学ぼうとしている。 | 「子どもの声を聴くこと」を大切にしながら、子どもとの信頼関係を構築するとともに、同僚と協働することで子どもの可能性や活躍の場を引き出す取組を実践している。 | 全ての教育活動において子ども一人一人の困り・思い・願い等に向き合うとともに、同僚性を発揮しながら、子どもが自分のよさや可能性を実感できるように、互いに認め合える取組を実践している。 | 園・学校だけでなく、地域全体で「子どもの声を聴くこと」を大切にしながら、組織的に「人間尊重の教育」の理念に基づいた取組を推進している。 |
| | | 保育の構想 | 幼稚園教育要領等を理解し、各領域を踏まえたねらいや内容を明確にした保育を構想しようとしている。 | 幼児の興味や関心を生かしながら、各領域を踏まえたねらいや内容を明確に設定し、適切な環境を構成するなどして保育を構想している。 | 地域や園の特色を生かし、幼児の育ちに応じた各領域を踏まえたねらいを立て、多様な保育を構想している。 | 地域や園の実態を的確に捉え、多様な保育を実施するとともに、同僚に適切な対応をしている。 |
| | | 保育技術 | 幼児期における遊びや活動に関する基本的な保育技術を理解し、実践しようとしている。 | 効果的な環境の構成や指導方法等の保育技術を、多くの実践を通して学び、身に付けている。 | 各領域のねらいや内容に応じた計画的な環境の構成や指導の工夫をするなど、確かな保育技術を身に付けている。 | 豊富な経験から身に付けた確かな保育技術を生かし、保育実践をするとともに、同僚に適切な対応をしている。 |
| | | 保育実践の評価・改善 | 保育実践を改善する意義や見直す手だてを理解し、実践しようとしている。 | 自分の保育実践を適切に見直し、その成果と課題を明確にした上で、次の実践に活かしている。 | 保育実践を改善する意識を常にもち続け、より効果的な手だてを考え、次の実践に活かしている。 | 子どもの育ちの状況から保育実践を見つめ直し、自らの実践の改善を図るとともに、同僚に適切な対応をしている。 |
| 教育の専門家として、実践的指導力や専門性の向上に主体的に取り組み教員 | 幼児指導 | 幼児理解 | 幼児理解の大切さを認識し、積極的に向き合おうとしている。 | 基礎的な知識を身に付け、幼児一人一人の発達の特長や育ちの状況を理解し、適切に向き合っている。 | 幼児の発達の特長や育ちの状況を広い視野から捉え、言動や表情から内面を深く理解し、寄り添った対応をしている。 | 専門性を生かし、その子らしさを大切にするとともに、発達の課題に即した効果的な手だてを講じて、迅速で組織的な対応をしている。 |
| | | 人間関係づくり | 幼児一人一人の言動や表情にしっかり目を向けるとともに、進んで関わろうとしている。 | 情熱をもって学級経営を行うとともに、幼児同士の関わり合いに目を向けながら、温かい関係を築き、きめ細かく対応している。 | 幼児同士がよさや持ち味を生かしながら関わり合うなど、ビジョンをもって学年・学級等の運営に当たり、どの子にも適切に対応している。 | 園全体に肯定的・受容的な関係づくりを広げ、チームとしての機能を高め、適切に対応している。 |
| | | 組織的な対応 | 幼児指導の組織的対応の重要性を理解し、実践しようとしている。 | 家庭との連携を日常的に進め、園内組織を活用し、教職員間で幼児の情報共有するなど、状況に応じて適切に指導している。 | 家庭や地域をはじめ、関係機関と連携しながら、園内組織を活用し、状況に応じて適切に課題解決している。 | 家庭や地域、様々な関係機関と連携して組織体制を整え、迅速かつ適切に課題解決している。 |
| 教育課題への対応 | 特別支援教育に関する専門性 | 子ども一人一人の教育的ニーズに応じた特別支援教育に関する専門性について学ぼうとしている。 | 子ども一人一人の教育的ニーズに応じた特別支援教育に関する専門性について学んでいる。 | 子ども一人一人の教育的ニーズに応じた特別支援教育に関する専門性についての知識を更新し続けている。 | | |
| | 特別支援教育に関する指導力 | 幼児一人一人の教育的ニーズに応じた支援・指導について認識し、組織的な対応等の実践を学ぼうとしている。 | 教師間の連携を図りながら、適切に学習上・生活上の支援・指導の工夫をしている。 | 教師間の連携を密にし、子ども一人一人の教育的ニーズをきめ細やかに見取るとともに、必要な支援や適切な指導に努めている。 | 園全体における組織的な対応の中心的役割を担い、全ての教職員が子どもの発達特性等を踏まえた支援・指導ができるよう適切な助言等を行っている。 | |
| | ICT活用指導力 | 情報モラル・情報セキュリティを正しく理解し、ICTを適切に活用しようとしている。 | 保育における、幼児の体験との関連を考慮したICTの効果的な活用場面を計画し、実践することができる。 | 保育における、幼児の体験との関連を考慮したICTの効果的な活用方法を開発し、実践することができる。 | 情報モラル等に関する情報収集を行い、SNS等の有益性や危険性を自覚するとともに、ICTの効果的な活用方法や情報発信等、同僚に適切な対応をしている。 | |
| 教員 | 園・学校づくりを担う一員として、地域等と連携・協働しながら、課題解決に取り組む | 園づくりへの参画 | 学級担任・園務等について理解し、実践しようとしている。 | 教育目標等を踏まえ、学級経営の方針を立て実践している。 | 学年経営等の組織運営に参画し、教育目標の実現に向けて工夫改善を行っている。 | 園づくりに牽引役として参画し、園全体の教育活動の活性化や充実を図っている。 |
| | | 危機管理 | 危機管理の重要性を理解し、危機を察知して迅速な行動をとろうとしている。 | 安全・安心に配慮した環境について理解し整備するとともに、事故等の発生時には、速やかに報告等を行い対応している。 | 危機を予測し、未然防止に向けてリーダーシップを発揮するとともに、チームとして早期発見、早期対応を組織的に行っている。 | 学校安全に関わる未然防止、再発防止を組織的に推進するとともに、緊急時にはチームの中核として対応している。 |
| | | 関係機関等との連携 | 家庭や地域、関係機関や小学校との連携の大切さを理解し、教育活動に活かそうとしている。 | それぞれの役割を理解し、家庭や地域、関係機関や小学校と連携・協働して日常の実践を進めている。 | 家庭や地域、関係機関や小学校と関わりを深め、適切に連携・協働して対応している。 | 家庭や地域、関係機関や小学校との円滑なネットワークを形成し、連携・協働して対応している。 |
| | | 教育課題への協働的対応 | 教育課題に関心をもち、協働的に行動することの重要性について理解を深めようとしている。 | 教育課題を把握するとともに、同僚と協働して課題解決に当たるよさを理解し、ともに支え合い実践している。 | 教育課題の解決に向け、連携の在り方や有効な手だてなどを考え、同僚と協働し、ともに支え合い、効果的かつ適切に対応している。 | 教育課題の解決に向け、リーダーシップを発揮するとともに、全園的な視野に立ち、一人一人の役割を生かしながら、見通しをもって適切に対応している。 |